

## 仕様書

### 1. 件名

「BEYOND SDGs エコプロ」出展ブースの企画・設計・施工業務

### 2. 目的

「原子力発電環境整備機構(以下「機構」)」が出展する大規模環境イベント「BEYOND SDGs エコプロ」の出展ブースについて、本仕様書に基づき企画・設計・施工を行うことで、機構並びに地層処分事業に関する理解拡大を図ることを目的とする。

### 3. ブースを出展するイベントの概要

(1) 名称: BEYOND SDGs エコプロ

(2) 主催: 日本経済新聞社

(3) 開催期間: 2026年12月2日(水)～2026年12月4日(金) 全日10:00～17:00

[設営: 11月30日(月)・12月1日(火)、撤去: 12月4日(金) 開催終了後～22:00]

(4) 開催場所: 東京ビッグサイト 東ホール

### 4. 事業期間

契約締結日～2027年3月15日まで

### 5. 事業内容

(1) BEYOND SDGs エコプロ出展ブースの企画・設計・施工(運営業務は含まない)

#### ア. ブース概要

展示ブース面積 約144㎡(16小間)

[幅: 12m、奥行き: 12m、高さ: 通路から1m以内2.7m、それ以外4m]

なお、出展申込の手続き及び出展料の支払いは機構が実施する。

#### イ. 訴求対象

(ア) 学校単位の社会科見学として参加する教育関係者、学生、生徒、児童

(イ) 社会課題への意識・関心の高い一般生活者

(ウ) 社会課題解決に携わるビジネスパーソン

#### ウ. 基本的な考え方

以下の考え方を基に、「5(1) エ. 企画・設計・施工業務詳細」に示す展示物等の企画・設計・施工を行うこと。

(ア) SDGsと地層処分の関連付けストーリー(13. 添付書類[1])に沿って、「地層処分を日本国内全体で考える」ことと、「SDGsの世界観を醸成して具現化」を表現した

内容で、NUMO 職員と入場者が Face to Face でコミュニケーションがとれる造作にすること。

(イ)「触れる」「見る」「聞く」など体感できるコミュニケーション手法に重点を置いた展示とし、「日本中で考えよう。地層処分のこと。」をキーコンセプトに、各展示は「SDGs と地層処分の関連付けストーリー」を基にレイアウトを企画すること。SDGs のロゴを配置し事業との関連性を各展示物で示すことを通じて、「地層処分」を自分事として考えてもらう内容とすると同時に、NUMO の技術的取り組みもクローズアップした内容とすること。なお、順路のスタートは相対的に広いスペースを確保し、動線がスムーズになるようにすること。

(ウ)会場全体図における機構出展ブース位置より、来場者の誘導を含め、マスコミにも大きくアピールできる全体デザインを企画すること。各ブースの展示物にはギミック等を設置し、立体的なメリハリをつけること。ただし、動線を妨げないようなギミック等とすること。

※出展ブース位置については、展示会主催者により後日決定

(エ)完成したブースは360度カメラを用いて撮影し、Web ブラウザ上で閲覧可能なバーチャルアーカイブを構築すること。アーカイブは、閲覧者がブース内を順次移動しながら展示物を確認できる構成とし、静止画の納品のみではなく、展示空間を疑似体験できるコンテンツとすること。ただし、ブース設営完了から本アーカイブの公開日時(12月3日10時)までの時間が限られているため、公開日時に間に合う暫定版(後日、完全版に差し替え)での対応など、現実的な制作手法やスケジュールを含めて提案すること。

ブースで来場者へ配布するための、展示物を網羅したリーフレットを製作すること。

なお、リーフレットの配布作業は、イベント運営受託者が別途行うものとする。

来場者との接点を本イベント時のみにとどめず、イベント終了後も継続してつなげていくため、製作するリーフレット内のQRコード等により、アーカイブへのアクセスや機構のインスタグラム等のフォロワー獲得へ誘導する施策を提案すること。URL やアカウントの案内にとどまらず、アクセスやフォローした来場者が「限定デジタルコンテンツ(オリジナル壁紙など)」を獲得できるなど、特別感を与え、自発的にアクセスしたくなるようなインセンティブ(動機付け)の仕掛けを含めて提案すること。

2026年12月3日10時～2027年3月15日23時59分までを公開期間とし、公開期間中のサーバーレンタル料を含むものとする。公開期間終了後は、本アーカイブに関するすべての権利は原子力発電環境整備機構に帰属するものとする。

※アーカイブコンテンツおよび誘導施策は、来場者が展示会終了後も継続的に地層処分に興味関心を持ち、機構との接点を保ち続けられるものになるよう工夫すること。

## エ.企画・設計・施工業務詳細

ブースの注目を引くためのアイキャッチを用意し、以下の展示物等を参考に企画・設

計・施工すること。なお、本年度は機構が所有する「ジオ・ラボ号」は活用しない。

(ア)「地層処分」に関する展示(メイン展示)

本展示において地層処分事業の説明を実施することを予定している。説明を補完するための「縦置き型高レベル放射性廃棄物実物大模型(以下「実物大模型」)」1点を製作・展示すること。高さ:約1300mm、直径:約400mm、素材は問わないが、質感は可能な限り実物に近いものとする。こと。「実物大模型」の展示にあたっては、パネルや立体造形説明物等を用いたわかりやすい展示となるような工夫を行うこと。実物大模型は宅配便を使用して運用ができるよう分割すること。合わせて、宅配便運用に使えるようケースを付属すること。

また、別途、NUMOにて製作済みの「従来型 PEM 3D モデル」を合わせて活用し、設置台などは独自にデザイン、製作すること。

「従来型 PEM 3D モデル」の詳細については、「添付書類(2) 従来型 PEM 3D モデル全景および全景2」を参照のこと。

(イ)離れたところからでも NUMO ブースと視認できるランドマーク的なサインを設置し、誘引、認知効果を高めること。

(ウ) 来場者向けクイズ及びアンケート、ノベルティの製作

クイズ及びアンケートを 5000 部製作すること。アンケート内容は別途機構と調整するものとし、デザイン、印刷、運搬をすべて行うこと。

来場者向けノベルティを 6000 部製作すること。ノベルティは機構の経営理念に照らし、妥当なものであり、機構の訴求ポイントが効果的に伝わるデザインを採用すること。また可能な限り環境配慮型の製品であること。ノベルティに関わる、候補提案、オリジナルデザイン化、運搬をすべて行うこと。

(エ) 受付コーナーの設置

名刺やアンケート、ノベルティなどの受け渡しに必要な受付台等を受付コーナーとして設置し、ブース全体の入口が明確に分かるようにすること。

(オ) モニター、パンフレット用ラックの設置

ブース内に、機構テレビCMやアニメーション動画(機構より提供)をループ再生できる大型モニター(50インチ以上)及び、モニター接続の動画再生機器を設置すること。

併せて、機構パンフレット等を設置するためのパンフレットラック(幅:約 300mm、奥行き:約400mm、高さ:約1500mm〔A4 10段相当〕)を調達し、設置すること。

(カ) 調査関係展示ブース

地層処分に関する技術の紹介で、機構から提供する情報を基に、機構が行う調査について展示できるブースを設置すること。展示の媒体(ディスプレイ、パネル等)についても企画・提案することとし、A0 サイズ 3 点程度の展示をできるスペースを確保すること。展示のうち1つは国が作成した「科学的特性マップ」、残りは地層処分事業の段階的な調査について説明する内容を想定している。内容の詳細については、契約締結後に機構と協議の上決定するものとする。

#### (キ)地層処分技術紹介ブース

文献調査の次の段階である概要調査で行われる予定のボーリング調査で使われる「槽」の模型を製作すること。槽の高さは30cm程度とし、底面積にはそれに比例して製作すること。材質は落としても壊れにくい樹脂等を想定するが指定はしない。模型には保管、配送用のプラダンによる箱を作成すること。この模型の背景には、機構が提供する素材(データ等)を用いて本業務に関する展示物(パネル等)を製作し設置すること。また、タブレット端末を用意し、ボーリングの作業風景を流すこと。実証試験で掘り出したコア(岩石)を展示して誰もが触れられるようなレイアウトを行うこと。

※映像と実証試験で掘り出したコアは機構にて用意。

#### オ.企画・設計・施工に係る留意事項

(ア)ブースの装飾等について素材は可能な限り環境配慮型であることが望ましい。

また、ブース床面全体にカーペットを敷き共用通路との差別化を図ること。

(イ)展示物企画にあたり必要な情報や数値等のデータについては機構が提供する。

デザイン上、写真や画像等が必要な場合は、機構が提供するものを除き、原則として受託者が用意すること。写真等の選定の際には、著作権等に留意し、今後、機構が継続的に活用する際に追加費用等が生じないものとする。

(ウ)各展示の必要照度を勘案し、必要数の照明を設置すること。

(エ)機構が提供するデータについては最新の数値に更新する可能性があることに留意すること。機構と相談の上、可能な限りデータの更新について対応すること。

(オ)ブース内に軽微な資機材を置いておけるバックスペースを確保すること(ノベルティなど大量にある資機材においては、別途機構で契約するストックルームに置いておく)。

#### (2)BEYOND SDGs エコプロ出展ブースの撤去

「3(3)開催期間」の定めに基づき、展示物を撤去し原状回復すること。

#### (3)留意事項

ア.展示物の搬入、設置作業については安全性を十分に考慮すること。

イ.施工時は、他の展示物等への破損等がないように十分に注意すること。

ウ.会期中に展示物の破損等が生じた場合は、受注者の責任において可能な範囲で補修すること。

エ.展示物等の設置にあたっては、BEYOND SDGs エコプロ事務局が定める出展要項及び各種法令を遵守し設置場所を決めること。

オ.撤去時の廃棄物排出削減のため、「実物大模型」のほかにも製作した展示物は可能な限り、他のイベントに流用ができるものとする。なお流用物については撤去時に別途機構で輸送するので、本業務に含まない。撤去物については法令に基づき、発生する廃棄物の処理も含めて展示物等の撤去および原状回復を行うこと。

## 6.納入物

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| (1)製作した展示物(バーチャルアーカイブコンテンツ含む) | 一式 |
| (2)業務完了報告書                    | 1部 |
| (3)業務実施体制表                    | 1部 |
| (4)展示企画報告書                    | 1部 |
| (5)展示設計図書                     | 1部 |
| (6)展示製作・設置費用積算内訳書             | 1部 |
| (7)施工計画書                      | 1部 |
| (8)完成写真                       | 1部 |
| (9)打合せ議事録                     | 1部 |
| (10)(2)～(9)の電子データ             | 1部 |

## 7.納入先

原子力発電環境整備機構 広報部 地域コミュニケーショングループ

## 8.検収

納入物の完納および検査の合格をもって検収とし、請求書に基づき支払いを実施する。

## 9.支払方法

検収後一括払い

## 10.その他(下請負の扱い)

- (1)受託者は、業務の全部を第三者に請負わせてはならない。
- (2)受託者は、下請負(委託業務の一部を第三者に委任し、または請負わせることをいう。)を行ってはならない。ただし、当該下請負が次の各号のいずれかに該当するときは、この限りではない。
  - ①本契約の締結時における企画書又は実施体制図に定めるものであるとき。
  - ②機構の承認を得たものであるとき。
  - ③受託者が下請負先に支払う契約金額が100万円未満で、かつ本件委託金額の50%以下に該当するとき。

## 11.特記事項

- (1)疑義が生じた場合の扱い  
本仕様書に記載のない事項について、疑義が生じた場合は、機構と協議のうえ、その決定に従うものとする。
- (2)その他  
・本仕様書の内容に変更が生じた場合は、機構と協議のうえ、その決定に従うものとする。

- ・本事業に関して受託者が作成したすべての成果物に関する各種権利の一切は機構に帰属するものとする。
- ・業務の実施事項について、事項ごとに機構に確認しながら進めること。

## 12. 遵守事項・禁止事項

本事業の受託者は、委託された業務を担当する関係者全員（下請負がある場合はその関係者を含む）に次の基本的事項について説明を行い遵守しなければならない。

- (1) 受託者は、機構の掲げる経営理念に則り、かつ、機構の事業の社会的影響の大きさに特に留意して誠意をもって委託業務を実施すること。
- (2) 受託者は、機構の事業の公正性、透明性及び信頼性を棄損することのないよう委託業務を実施すること。
- (3) 業務の実施状況について、機構の求めに応じて書面で報告すること。
- (4) 上記(1)から(3)までの実施事項について、事項ごとに機構に確認しながら進めること。

## 13. 添付書類

- (1) SDGsと地層処分に関連付けストーリー
- (2) 従来型 PEM 3D モデル全景および全景2

以 上

# SDG s と地層処分の関連付けストーリー案

2026年07月  
広報部・地域コミュニケーショングループ



## 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)

→2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標



画像: 国際連合広報センターHPより

17のゴール・169のターゲット（・231の指標）から構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

（外務省HPより）



# SDGsと地層処分の関連付けストーリー

世界的な課題となっている気候変動

13 気候変動に  
具体的な対策を



わたしたちの生活は昔に比べると「電気」の普及により便利で豊かなものになった。  
しかし、発電に使われるエネルギー資源は有限のもの。日本では現在、電源構成のうち67.5%を火力発電に依存している。（2024年度）  
火力発電に使用する化石燃料は燃やすと二酸化炭素が発生し、地球温暖化につながる。「気候変動」（地球温暖化）の問題は年々大きくなっている。



CO2を排出しない発電方法

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



13 気候変動に  
具体的な対策を



火力発電に伴い発生する二酸化炭素だが、実は二酸化炭素を排出しない発電方法もある。  
再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力）とともに、原子力は発電時に二酸化炭素を排出しない発電方法。  
二酸化炭素を排出しないので「気候変動（地球温暖化）に対する解決策の1つ」として位置づけられている。



エネルギーミックス

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



さまざまな発電方法があるが、それぞれ、長所や短所を持っている。特定の発電方法に依存するのではなく、複数の発電方法を組み合わせることによって、安定的な電力の供給が可能になる。政府が2025年に閣議決定した「第7次エネルギー基本計画」では、2040年度の電源構成比率のうち、2割程度を原子力発電とし、原子力発電を脱炭素電源として「最大限活用」していくこととしている。  
特に、生成AIの普及に伴うデータセンターの新增設により、電力需要が急激に増加している。原子力発電には電力の安定供給を確保する役割も期待されている。

# SDGsと地層処分の関連付けストーリー



## 原子力発電の仕組み・特徴



原子力発電は二酸化炭素を排出しない発電方法の一つであり、「気候変動（地球温暖化）に対する解決策の一つ」として位置づけられている。



## つくる責任・つかう責任



発電方法にはそれぞれ長所・短所が存在している。原子力発電は「高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）」が発生するため、原子力発電による電気を利用してきた我々世代で処分の道筋をつける責任がある。

ヨーロッパでは、原子力は持続可能な電源として認められているものの、廃棄物処分の具体的計画の提出が義務付けられている。（EUタクソミー）

日本においても、これまでに電気の利用により発生してきた「高レベル放射性廃棄物」の最終処分問題に向き合って対処していくことが不可欠である。



## 地層処分



「高レベル放射性廃棄物」の処分はどのような処分方法が考えられてきたのか？

世界各国でさまざまな処分方法が検討されてきた結果、「地層処分」が適した方法であることが国際的にも共通の認識になっており、日本では法律※でも定められている。

※特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律

# SDGsと地層処分に関連付けストーリー



## 諸外国の状況



海外の地層処分の進捗状況はどうなっているのか？

既に処分地が決まっているスウェーデン、フィンランド、フランス、スイス、カナダでは、雇用への寄与・地域経済へのプラスの影響等が分析され、地域の方に共有された。「地層処分場はゴミ捨て場ではなくハイテク技術が集まる工業地域になるというプラスのイメージの共有が処分場の決定につながった」というのはスウェーデンのエストハンマル前市長の発言。諸外国との連携パートナーシップにより、安全を支える技術力向上も必要不可欠となっている。



## 地層処分場の概要



日本ではガラス固化体を4万本以上埋設できる施設を全国で1か所つくることを計画。閉鎖後は坑道を埋め戻し、地上施設も撤去するので地下・地上ともに掘削前の状態に近づく。地上施設撤去後は、一例として、「スマートシティー」の造成などが考えられている。



## 地層処分場の安全性



火山や活断層は避けて処分地を選定することや、多重バリアシステムにより長期にわたり放射性廃棄物を人間の生活環境から隔離することができる。（地下水による放射性物質の移動を遅らせ、人間の生活環境ひいては地上の環境への悪影響もない。）

# SDGsと地層処分の関連付けストーリー



## 地層処分事業の進め方



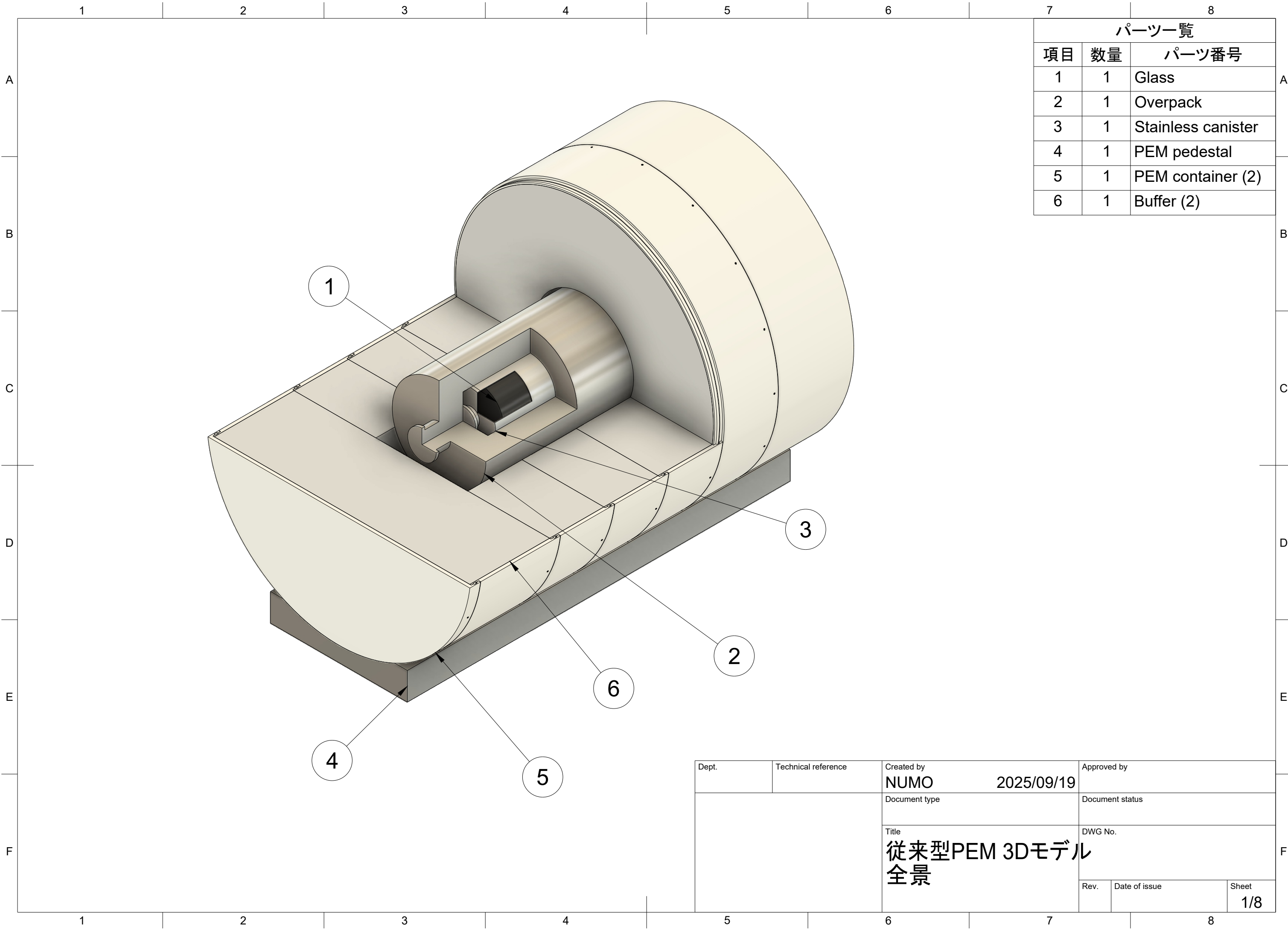
段階的な調査を経て、処分地を選定する方針。調査を進めるにあたっては、住民の間で継続的な対話が行われ、議論を深めていただくことが重要。「対話の場」はその取組みの一つ。対話の場の様子は広く公開されている。これからのNUMOは、全国各地で事業を知っていただくための対話も進めつつ、技術力も向上させていく。



## 自分たちに出来ること

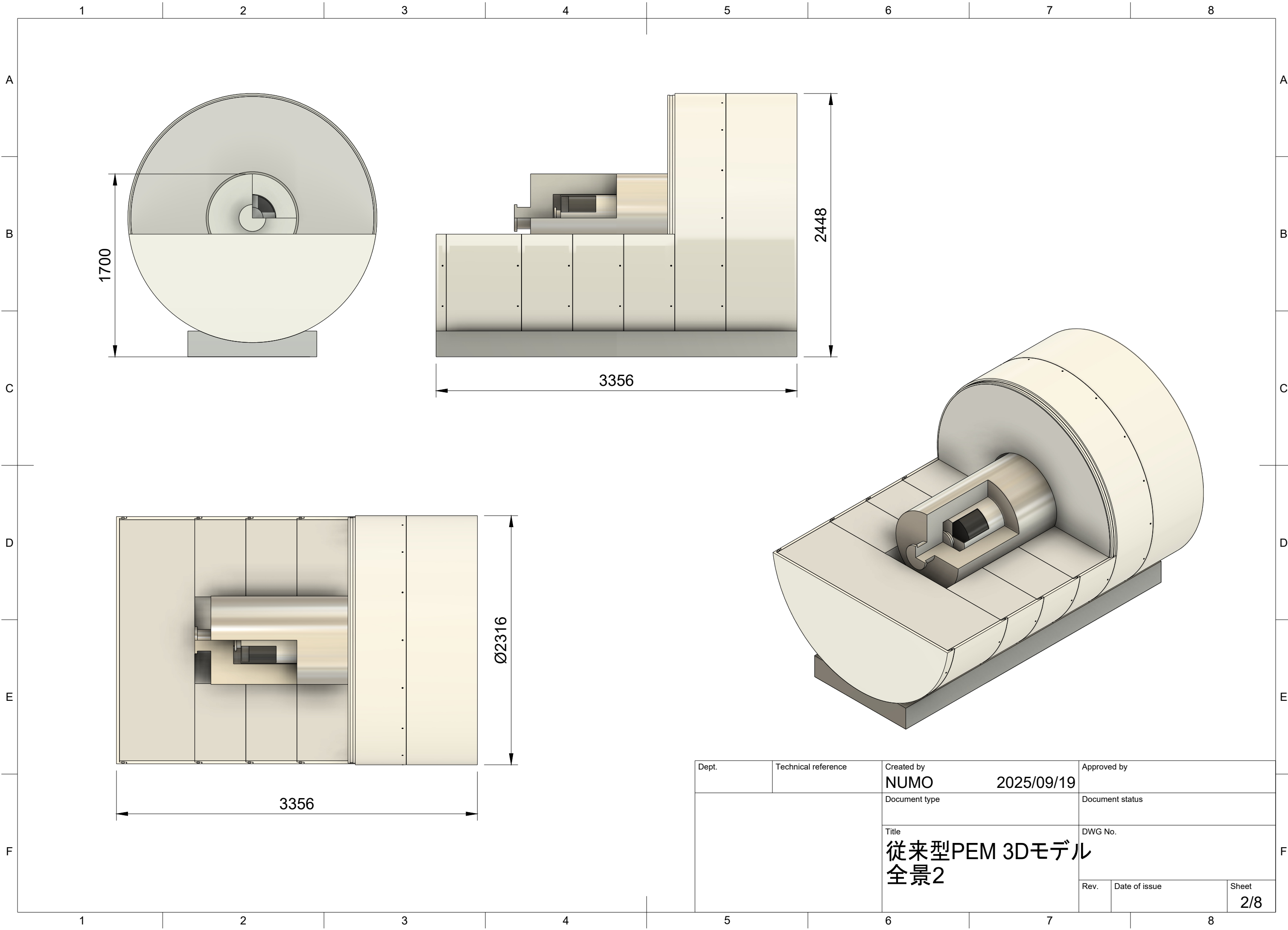


地層処分の問題は特定の地域だけでなく、日本全国で考えるべき課題である。この機会に一緒に考えてみませんか。

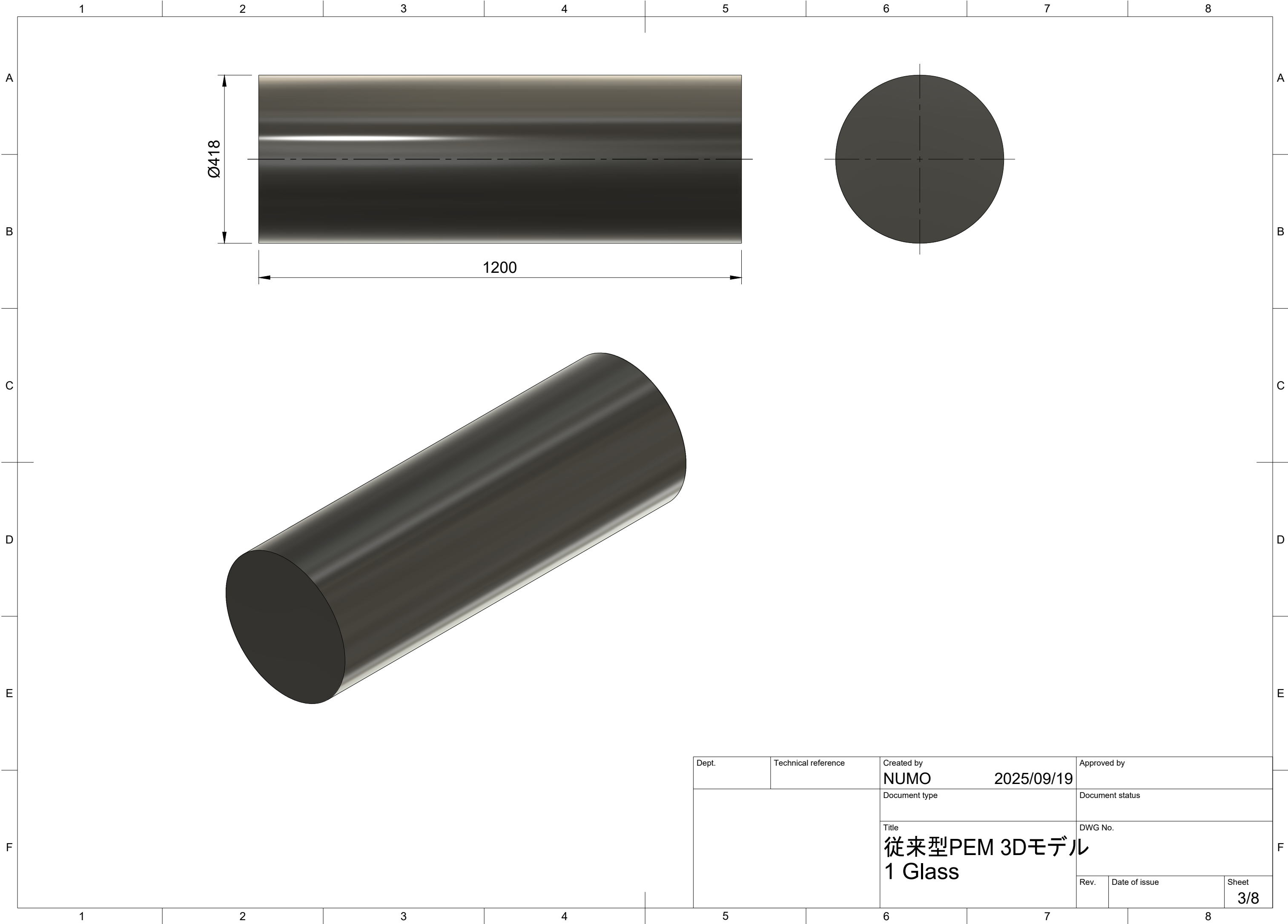


| パーツ一覧 |    |                    |
|-------|----|--------------------|
| 項目    | 数量 | パーツ番号              |
| 1     | 1  | Glass              |
| 2     | 1  | Overpack           |
| 3     | 1  | Stainless canister |
| 4     | 1  | PEM pedestal       |
| 5     | 1  | PEM container (2)  |
| 6     | 1  | Buffer (2)         |

|       |                     |                             |               |                 |
|-------|---------------------|-----------------------------|---------------|-----------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO          | 2025/09/19    | Approved by     |
|       |                     | Document type               |               | Document status |
|       |                     | Title<br>従来型PEM 3Dモデル<br>全景 |               | DWG No.         |
|       |                     | Rev.                        | Date of issue | Sheet<br>1/8    |

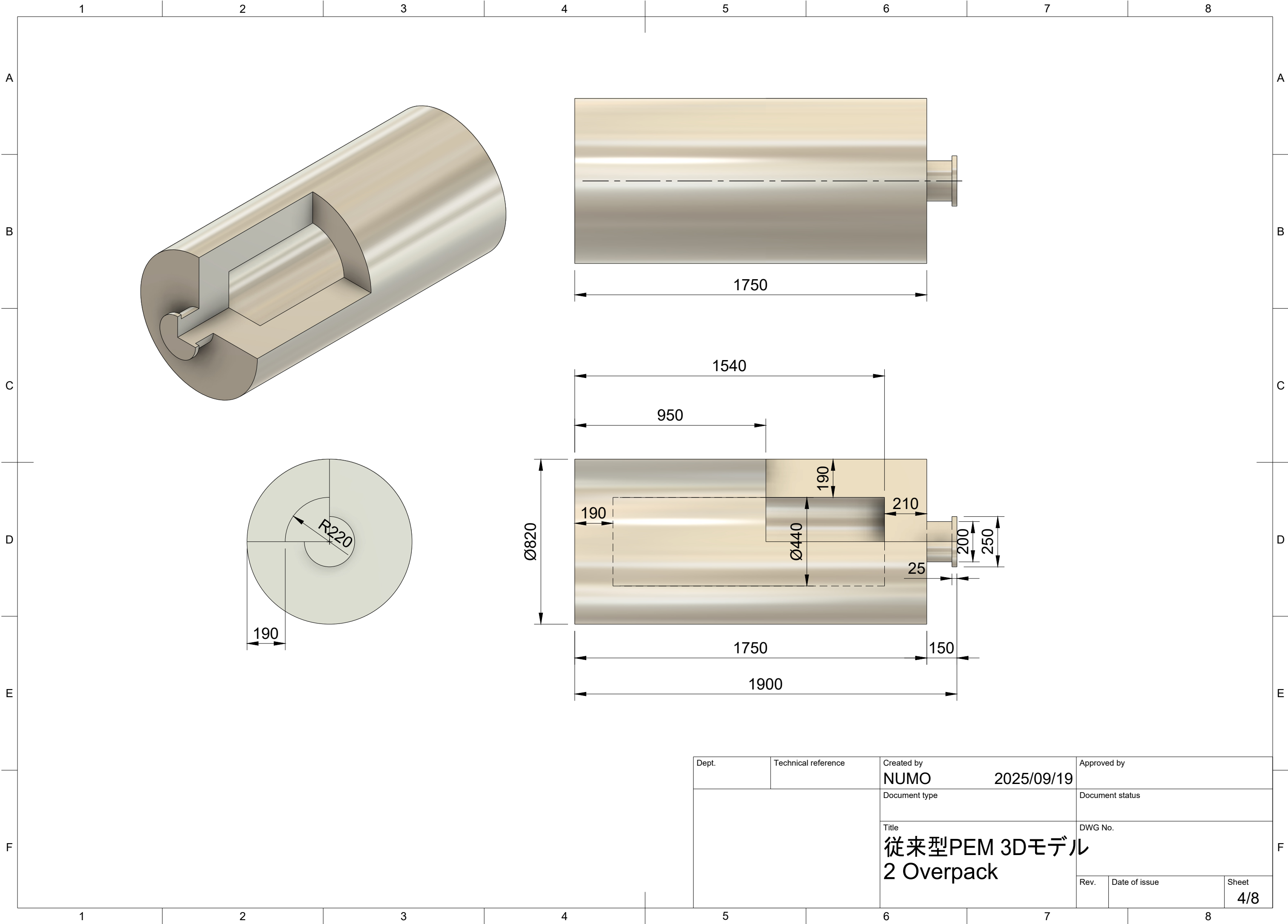


|       |                     |                              |                 |                               |
|-------|---------------------|------------------------------|-----------------|-------------------------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO2025/09/19 | Approved by     |                               |
|       |                     | Document type                | Document status |                               |
|       |                     | Title<br>従来型PEM 3Dモデル<br>全景2 | DWG No.         |                               |
|       |                     |                              | Rev.            | Date of issue<br>Sheet<br>2/8 |



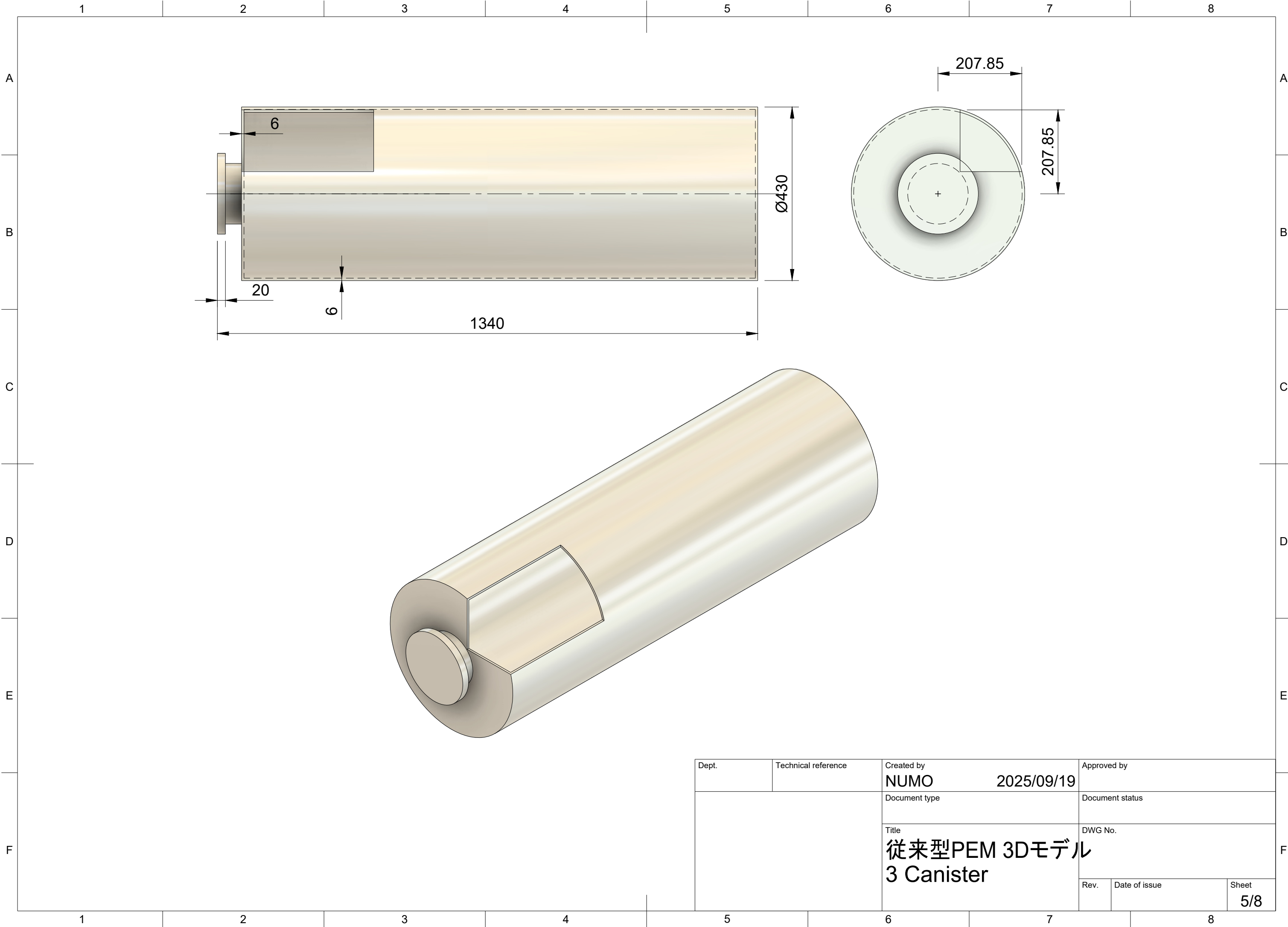
|       |                     |                              |                 |               |
|-------|---------------------|------------------------------|-----------------|---------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO2025/09/19 | Approved by     |               |
|       |                     | Document type                | Document status |               |
|       |                     | 従来型PEM 3Dモデル<br>1 Glass      | DWG No.         |               |
|       |                     |                              | Rev.            | Date of issue |
|       |                     |                              | Sheet           | 3/8           |



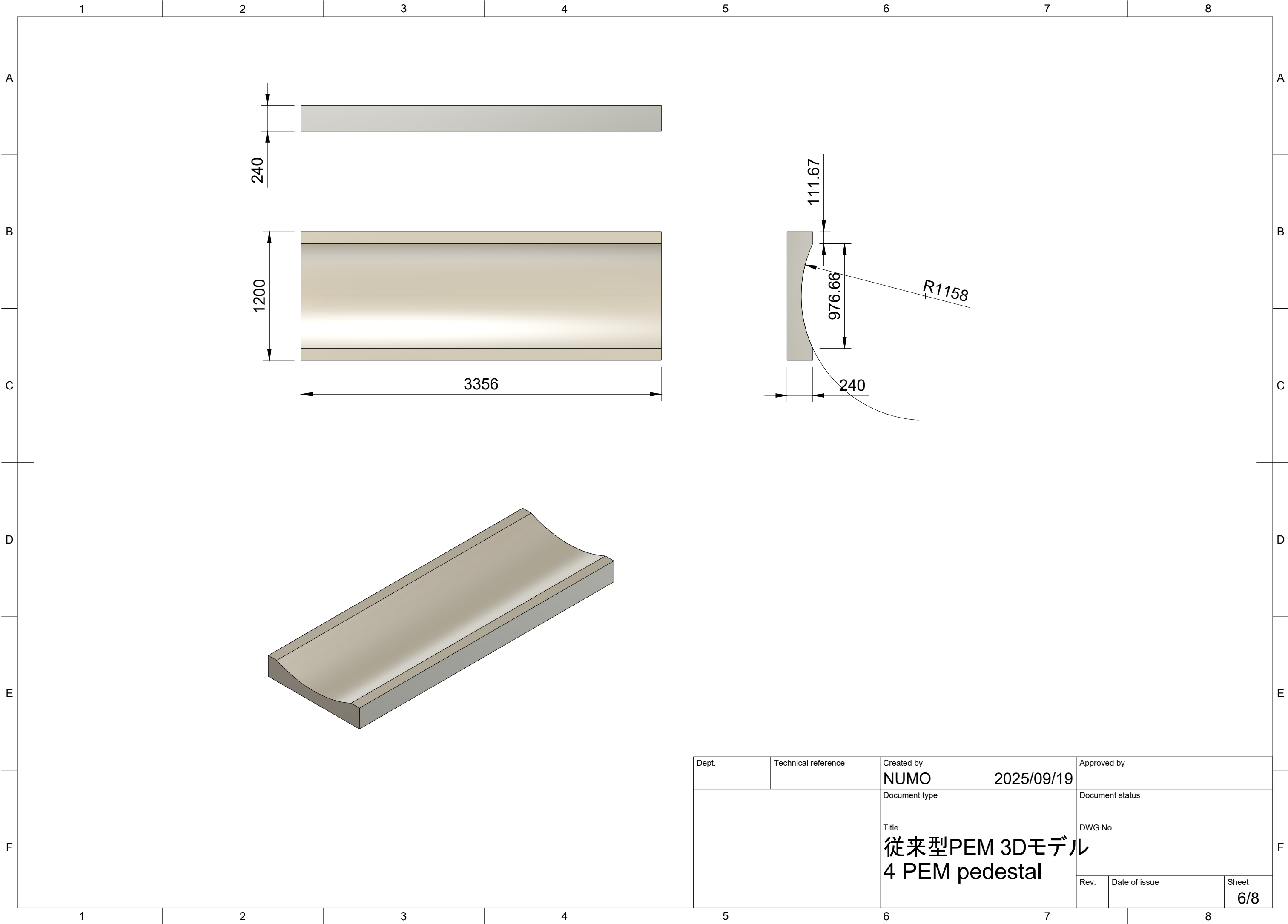


|       |                     |                                     |                 |
|-------|---------------------|-------------------------------------|-----------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO2025/09/19        | Approved by     |
|       |                     | Document type                       | Document status |
|       |                     | Title<br>従来型PEM 3Dモデル<br>2 Overpack | DWG No.         |
|       |                     | Rev.                                | Date of issue   |
|       |                     | Sheet<br>4/8                        |                 |





|       |                     |                                     |                 |                               |
|-------|---------------------|-------------------------------------|-----------------|-------------------------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO2025/09/19        | Approved by     |                               |
|       |                     | Document type                       | Document status |                               |
|       |                     | Title<br>従来型PEM 3Dモデル<br>3 Canister | DWG No.         |                               |
|       |                     |                                     | Rev.            | Date of issue<br>Sheet<br>5/8 |



|       |                     |                                |                 |               |
|-------|---------------------|--------------------------------|-----------------|---------------|
| Dept. | Technical reference | Created by<br>NUMO2025/09/19   | Approved by     |               |
|       |                     | Document type                  | Document status |               |
|       |                     | 従来型PEM 3Dモデル<br>4 PEM pedestal | DWG No.         |               |
|       |                     |                                | Rev.            | Date of issue |
|       |                     |                                | Sheet           | 6/8           |

